

連合創薬医療情報研究科自己点検評価書

項 目	取組内容（成果、課題など）	根拠資料	
基準4 学生の受入 4-1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、それに沿って、適切な学生の受入が実施されていること。 4-2 実入学者数が入学定員と比較して適正な数となっていること。	入学者選抜の改善に繋がった取組 ○TOEFL や TOEIC など外部機関による英語力認定を活用して、適正な学生受け入れを実施した。 入学者数を改善するための取組 ○研究科の入学者数は入学定員の 1.0 倍であり、適正な数であった。 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）の明示及び受入について ○アドミッション・ポリシーは、ホームページおよび学生募集要項に明示し、それを踏まえ、学生を受け入れ予定の指導教員との相談の上、受験をしている。	学生募集要項（資料1） 学校基本調査資料（資料2）	連合創薬医療情報研究科の取り組みを示すポンチ絵（公表用1枚）
基準5 教育内容及び方法 5-2 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。（学士課程） 5-5 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等（研究・論文指導を含む。）が整備されていること。（大学院課程）	授業形態や学習指導法の改善を図るための取組 ○創薬・医療情報における最先端の研究を体系的に学ぶことができる創薬人材育成教育プログラムを構築し、実施した。 授業の方法及び内容の明示状況 ○授業方法及び内容は、WEB シラバスにて開示されている。	創薬人材育成教育プログラムチラシ（資料3） Web シラバス	
基準6 学習成果 6-1 教育の目的や養成しようとする人材像に照らして、学生が身に付けるべき知識・技能・態度等について、学習成果が上がっていること。 6-2 卒業（修了）後の進路状況等から判断して、学習成果が上がっていること。	学習成果の向上に繋がった取組 ○授業評価結果より、授業が適正に行われていることや、学生の興味を引き出すことにも成功しており、学習成果が向上していると考えられる。また、研究進捗状況調査を行うことに通し、指導教員と学生本人の両方で学習達成状況を確認することになり、それに伴いよりの確な指導を行うことができ、成果が向上していると考えられる。 卒業（修了）生、就職先等の意見聴取により、学習成果が得られていることの確認状況 ○修了時のアンケート調査より、大学院教育に対する満足度や学位論文に対する評価は高く、学習成果が得られていると考えられる。また、英語力の強化に力を入れており、TOEIC 受験補助等により、英語力が身についたとの評価も得られている。	アンケート集計結果（資料4） 修了者アンケート（資料5）	

基準8 教育の内部質保証システム 8-1 【重点評価項目】教育の状況について点検・評価し、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための体制が整備され、機能していること。 8-2 教員、教育支援者及び教育補助者に対する研修等、教育の質の改善・向上を図るための取組が適切に行われ、機能していること。	教育の質の改善に繋がる取組 ○リフレクションペーパーや授業評価アンケートを活用して、授業の改善や新たな取り組みを共有した。 ○英語教育に関するFDを実施し、英語論文執筆に関わる研究指導の質の改善、効率化を図った。 関係者（学生、卒業（修了）生、卒業（修了）生の主な雇用者等）からの教育の内部質保証についての意見を聴取する仕組みの構築状況 ○毎年在学生アンケートおよび修了者アンケートを行い、就学中の問題点などについて確認している。また、前・後期在学生ガイダンス時に、個別面談を実施し意見等を聴取している。 自己点検・評価の結果を踏まえ、指摘事項への対応を検討、立案、提案する組織の設置状況 ○自己点検・評価後の対応については、教務厚生委員会及び入学試験委員会にて、検討が行われている。 ○教育の質保証に関する要項を定め、教育の質保証体制及び改善体制について整えた。 自己点検・評価の結果を踏まえ、指摘事項に対する対応計画が策定され、その取組が成果をあげていること、または、取組が進捗されていることの確認状況 ○英語教育に関する事項を含め、毎年年度計画を策定し、対応している。	リフレクションペーパーまとめ （資料6） FD資料（資料7） 在学生アンケート （資料8） 修了者アンケート （資料5）	
---	---	--	--

平成30年度連合創薬医療情報研究科自己点検評価書

基準4 学生の受入

- ・TOEFLやTOEICなど外部機関による英語力認定を活用して、適正な学生受け入れを実施した。
- ・研究科の入学者数は入学定員の1.0倍であり、適正な数であった。

基準5 教育内容及び方法

- ・創薬・医療情報における最先端の研究を体系的に学ぶことができる創薬人材育成教育プログラムを構築し、実施した。

基準6 学習成果

- ・授業評価結果より、授業が適正に行われていることや、学生の興味を引き出すことにも成功しており、学習成果が向上していると考えられる。また、研究進捗状況調査を行うことにより、指導教員と学生本人の学習達成状況を確認することで、よりの確な指導を行うことで、成果が向上していると考えられる。
- ・修了時のアンケート調査より、大学院教育に対する満足度や学位論文に対する評価は高く、学習成果が得られていると考えられる。また、英語力の強化に力を入れており、TOEIC受験補助等により、英語力が身についたとの評価も得られている。

基準8 教育の内部質保証システム

- リフレクションペーパーや授業評価アンケートを活用して、授業の改善や新たな取り組みを共有した。
- 英語教育に関するFDを実施し、英語論文執筆に関わる研究指導の質の改善、効率化を図った。

